



発行所
カトリック福江教会
広報委員会
五島市末広町3-6
☎ 0959(72)3957
●ホームページ●
<http://fukuechurch.jimdo.com>

思い出ボロボロ

助任司祭 山内 啓介



四月に福江教会に助任司祭として着任して、早半年が過ぎました。あつという

う間の半年であったと振り返りながら感じていきます。水・木・日曜日は浜脇教会に行っていますので、特に福江教会の日曜日のミサで福江教会の信徒の方々にあまりお会いできないのは少し残念なことです。今回はこの紙面をお借りして、少し自己紹介もかねて昔話をしたいと思います。

私が、福江の地を初めて踏んだのは高校生の頃でした。福江小学校の体育館を借りて、長崎教区召命委員会主催の召命フェスティバルが行われたので、田平教会の子

どもたちの引率をしていました。その時聞いた、中村倫明神父様の説教が今でも心に残っています。

神父様は最初に「この中で神父様になりたい人ー？」というようなくちを子どもたちに聞きました。子どもたちは誰も手を挙げません。次に「神父様になりたくない人ー？」というようなことを聞いたと思います。たくさん子どもたちが手を挙げました。神父様は次に色々なオレンジジュースをみんなに見せて、最後に「ファンタオレンジ」を見せました。そして、「たくさんのおレンジジュースがあるけれどみんな果汁〇〇％と書いてある。最後の『ファンタオレンジ』なんか果汁0％だけでもオレンジジュースです。だから、もし今神父様になりたい気持ちか0％でも、神父様になることはできる。自分の気持ちも大事だけれども神様の呼びかけに答える気持ちを大切にしてほしい。」ということ子ども

たちに言っていたと思います。

何しろ二〇年近くも前のことなので私の記憶もボロボロで、細部はだいぶ違うかもしれませんが、その時、神学生でありながら、いつ辞めるかばかり考えていた私にとって召命とは何なのか改めて考えさせられたことだけは覚えていきます。もしあの時、中村神父様の説教を聞かなかつたら、今福江に司祭として私はいなかったかもしれません。そういう意味で福江は私にとって思い出深い地でもありました。そのようなところで皆さんと宣教司牧活動ができることを非常にうれしく思います。どうぞこれからもよろしくお願いいたします。

あつという間

助任司祭 金 ボム



ご年配の方々からよく聞く言葉があります。時間がとても速く経つという言

たちが、今は気づかなくても、自分が生きてきた自分の人生を顧みてみると、時間の速さを感じるでしょう。わたしも最近時間は速く経つなと感じます。一昨日司祭叙階され、昨日福江教会に着任したような感じですが、毎日毎日を有意義に暮らそうとしたら、既に六か月も過ぎていきます。でもおかしいのは、日本に来たのは、だいぶ長く感じることです。正式に日本に来たのは、二〇一五年一月で、四年目になりますが、日本に十年ぐらいいたような気がいたします。

まだ何もかも分からないわたしで、福江教会に始めてきて、どのようにすればいいのか最初はまったく分かりませんでした。五島弁から初め、ミサの仕方にも慣れていなかったもので、慣れたかどうか最初はいまでもありませんでした。でも一緒に住んでいる中村神父さまや、山内神父さまからいろいろ教えていただきながら、また、いろんなシスターや信者さんから五島弁も含むたくさんのお話を教えていただきながら、少しずつ司祭生活を身に着けるようになっていきます。たくさんのお話を学んでいますし、習っていますので、特に時間が速く経つと感じるかもしれません。

時間が早く経つにつれ、自分も成長するように望んでいます。中々自分の成長はなくて、むしろ時間を無駄に使ったという気がいたします。でもこの時間も神様から与えられた時間ですし、早く時間が経つという体験を私に与えてくださったことで、何かわたしにメッセージを与えられているのではないかと気がいたします。今のところでは、早く経つ時間を適切に活用するようにというメッセージかなと一人で思ったりします。

これからもより早く時間が経つと思います。神学校にいた時も、二期に時間の早さをよりよく感じました。神さまのために、皆さんのために、そして自分のためにも自分を捧げつつ、時間を捧げつつ生きていきたいと思えます。福江教会の方々のために祈りながら、この文書を終らせていただきます。

カサレス多より 子ども聖歌隊活動報告

八月十五日の聖母被昇天の際には、皆様に多大なご寄付を頂き心より感謝申し上げます。子ども聖歌隊として心を込めて典礼に参加し精一杯練習に励むことが出来ます。

さて、今年に入り新生聖歌隊として活動している私たちです。以下、活動の目的と合わせて活動の様子をご報告いたします。

対象は小学一年生～六年生の男女。目的は①教会の活性化・典礼を豊かにする(特に主日) ②教会共同体の一員として積極的に典礼に参加し神様を讃美する。活動は①答唱詩編の担当 ②教会の祝祭日・行事などでの発表 ③他の聖歌隊の子供との交流としており、今年初の試みとして長崎地区で十二月に開催される「子ども聖歌の集い」に参加する予定です。

ミサの中でも元気で喜びに満ちた聖歌を神さまと皆さんに届けることが出来るよう頑張っています。練習は毎週土曜日の教会学校終了後に三〇分程度行っています(十月からは日曜日にも追加予定)。現在こども聖歌隊・答唱詩編担当の子どもを合わせて二〇名ほどが集っています。歌うことが大好きな子どもたちです。神さまから頂いた大事な恵みに気づき大事に育むきっかけと大事な時となりますように、担当者も手探りながら自己研鑽しつつ努めさせていただいています。

これからも応援、励ましなどよろしく願っています。

ばっくなんばー

◆ 広報誌「こころ」の過去の記事を紹介する「ばっくなんばー」のコーナー。今回は第二二六号(平成三十三年十月発行)より、当時の主任司祭である平野勇神父様の記事を紹介いたします。

◆ ロザリオの月十月

着物はま白く照り輝き、青色のおびをしめ、頭にかぶさった白いヴェールは肩までたれさがり、うやうやしく両手を合わせ、そのおん腕には金のくさりに白い玉のロザリオをかけていた。その足の下には二輪の黄金のバラをふまえ、目は恍惚として天をおおいでいた。

このお方こそ、私たちが心から尊敬し、愛し、いつも共に祈りしておりますマリアさまです。このようなお姿でマリアさまはフランスのルルドで十四才の少女、ベルナデッタにご出現になられたのです。一八五八年二月十一日のことです。

ご出現なされたマリアさまはベルナデッタと一緒に美しいロザリオの

お祈りをささげました。

三回目のご出現の時、マリアさまはベルナデッタに「私はあなたがこの世では幸福であることは約束しません。でもあの世では幸せであることと約束します。」と申されました。ベルナデッタは後に修道女となり、大変苦しい病気を耐え忍んで後三十五才で天に召されました。

マリアさまが一番のぞまれていゝことはロザリオのお祈りです。この十月はロザリオの月です。マリアさまを慕う私たちはこの十月、マリアさまが一番よろこぶロザリオのお祈りを大切に、おささげしたいです。

少なくとも毎日のごミサの前にマリアさまと共に祈るロザリオの祈りを大切にしたい。マリアさまはきつと恵みを与えて下さいます。最後には天の国の幸せを心をこめてロザリオをささげる者に与えて下さいます。



中村神父様霊名のお祝い&敬老会

中村神父様霊名のお祝い



去る九月十六日(日)二番ミサ中に、聖ミカエル中村満神父様の霊名のお祝いが執り行われた。まず副議長岩下氏より「福江教会、井持浦教会、浜脇教会など数カ所を受け持っておられ、息をつく暇もないほど忙しいと思いますが、お体に気をつけて司牧されて下さい。」とお祝いの言葉を贈った。また、生涯養成からの花束と信者からの霊的花束が贈られた。

中村神父様は「本当は(霊名の祝日は九月)二九日なんです(笑)何回もお祝いをするのは大変でしょうから、敬老会の日に一緒にしたいと思います。」「私も六一才になりました。私も敬老になりました。」と得意の冗談を交えた。そして「牢屋の窄の一五〇周年もあり、忙しい年に

なり福江教会に力が入っていないんじゃないかなと思っておられると思いますが、あと二年は大丈夫です。六年はいると思いますから。」「世界遺産登録のおかげで、人が動きます。秋になったらさらに人が動きます。信仰を多くの人に知ってもらおうチャンスとして、巡礼者に声をかけて下さい。お祈りの力には負けるなあと常々思います。浜脇教会や牢屋の窄の改修工事に、あと少しお金が足りない。そんなときは、イエス様にどうするんですかと脅迫します(笑)。そうすると、どこからともなく助けが入ります。これからまだまだお世話になると思います。宜しくお願います。」「とお礼の言葉を返した。

敬老会 2018

九月十六日(日)二番ミサ後に敬老祝賀会と中村神父様の霊名のお祝いが合同にて行われた。敬老会の参加者は二九名、女性部と評議会役員、シスター方がお祝いに集まった。初めに、中村神父様より「ますます元気にミサに来ていただいて、福江教会のために働



いていたください。」とお祝いの言葉が贈られた。

宴席では、子供達からお祝いのメッセージと歌のプレゼントやシスターによる合唱が披露された。宴の後半には恒例のカラオケコーナーとなり、元気な歌声に会場は拍手と歓声が沸き起こった。また、飛び入りで役員の一人芝居、オレオレ詐欺が演じられると、その面白さに大きな笑いが起こった。



今の福江教会があるのも、先輩方である皆さんの長年にわたる努力のおかげであり、まだまだです。まだま



中村神父様そっくりのイラスト付き手作りケーキがシスターよりプレゼント。



2018年9月16日(日) 敬老祝賀会

だ弱い私達の信仰心をこれからも支えて下さいますようお願いいたします。そして、来年はより多くの方が敬老会に元気に出席して下さいを祈りしています。

司祭団ソフトボール大会

九月二十五日(火) 福江中央公園 多目的広場にて、長崎大司教区司祭団ソフトボール大会が行われた。今年には下五島地区がホストとして大会を取り仕切り、五〇余名の司祭達が真剣に、楽しくソフトボールに汗を流した。福江教会をはじめ下五島地区の信徒が審判などでサポートを行い、大きなけがなどもなく無事に大会を終えることができた。



お知らせ

● ありがとうございました

本年七月に発生した西日本豪雨にて被災された方の支援として、八月に行いました募金活動において、皆様のご協力により十一万七千九百九十三円の義援金が集まりました。あたたかいご支援ご協力ありがとうございました。七万円余を広島教区に四万円を高松教区にそれぞれ送らせていただきます。

また、八月十五日に行われました聖母祭・夜市における収益金十六万八千五百円を、牢屋の窄殉教祈念聖堂の補修工事費用の支援金として送らせて頂きました。皆様のご協力、ご支援に心より感謝申し上げます。

● 募集しています

広報委員会では、広報誌「こころ」に載せたい記事を募集しています。内容は、例えば信徒さんの経営しているお店の紹介や、巡礼で行った教会の感想、日頃教会のことと考えていることやご意見、要望、神父様への疑問、質問など何でも構いません。もちろん匿名でも可です！神父様か広報委員濱崎までどしどしお願いします。

● 牢屋の窄殉教祭について

今年(平成30年)は牢屋の窄殉教一五〇周年の

記念すべき年となっております。高見大司教様が来島され、より盛大な殉教祭となります。久賀島の集落が世界文化遺産へ登録されて後、初めての殉教祭に参加しませんか。

○日時：10月28日(日) 殉教地での記念ミサ 13時から

※久賀小中学校から殉教地へのロザリオ行列 12時から

○集合：樫の浦港 始発便10時 最終便11時(海上タクシーで向かいます)

※久賀島内徒歩希望者は早めの集合をお願いします。

● その他の予定

墓地清掃

○日時：11月4日(日) 午後2時 午後3時より墓地御ミサ

初聖体式

○日時：11月25日(日) 二番ミサにて

《寄付・香典返し》御礼

○久保君子様

故テレジア 中尾サダ子様

○平山家様

故カタリナ 平山エミ様

右記の方から、寄付及び香典返しとしてご芳志を賜りました。

ご報告申し上げますと共に、故人の永遠の安息を心からお祈り申し上げます。

編集後記

朝晩も次第に涼しくなり、秋らしい日も多くなりました。皆さんいかがお過ごしでしょうか？

私事ですが、四歳になる我が一人娘と主日のミサに預かると、聖体拝領の際に神父様から祝福を受けた娘は必ず「ありがとうございますと言います！」と大きな声でお礼を言います。誰が教えたわけでもないのですが、二歳頃にはもう言っていたように記憶しています。

余りの大声に始めはちょっと恥ずかしい気もしていましたが、よくよく考えたらごミサは「感謝の祭儀」というくらいです。すから言って当然かと妙に納得しているこの頃です。

日々色々ありながらも無事に過ごしていることを、神様の支えあつてのことと気づき感謝する大切さを、小さな娘から教わったような気がしています。そのうち恥ずかしさを憶えて言わなくなるだろうなと思いつつ、もうしばらくは「ありがとうございます！」を聞くたびに娘と神様に心の中で感謝したいと思えます。

(N)